

2009 年 7 月 28 日

株式会社 アサヒファシリティズ

設備機器の実機を用いた事故・緊急対応訓練が可能な「技術研修センター」 ～改正省エネ法や新型インフルエンザ対策など時宜ニーズへの対応力強化も目指す～

(株)竹中工務店の 100%子会社で、不動産の管理などを行う(株)アサヒファシリティズ(本社：東京都江東区、取締役社長：常盤 正之)は、オフィスビル等の建物に設置される設備機器の実機を用いた事故・緊急対応訓練が可能な研修施設「技術研修センター」を、2009 年 7 月 29 日に開所します。

当施設は当社の創立 40 周年記念事業として今年 4 月に竣工したものです。ビルメンテナンス各社との差別化を図り、業界で初めて設備システムに対応する実機を導入した研修施設としました。

高い技術力を持つエンジニアの育成と日常訓練の充実に加え、建物機能の向上、修繕・更新などにも対応できる総合管理技術者としての能力開発を推進する、人材育成の一大拠点となります。施設環境の最良化を目指す当社の人材育成・技術力向上に対する姿勢を、顧客や就職希望者に訴求するアピールツールとしても活用していきます。



■外観写真

【建物概要と主な研修内容】

2 階建ての施設内には、10 階建て(約 15,000 m²)のオフィスビルに相当する設備システムが設置されています。これら実機によって、迅速かつ正確な対応を迫られる停電・漏電、火災対応やスプリンクラーの誤作動、空調機高圧カットなど、建物で起こり得る様々な事故を再現します。研修者は、事故を擬似体験しながら、対応能力や判断技術力の習得を目指します。

さらに継続的に進めてきた省エネ法への対応を含め消費エネルギーの診断、改善提案、インフルエンザ対策としての湿度調整など、時宜ニーズへの対応能力の向上に向けた教育研修も積極的に実施していきます。

【研修・訓練事例】

①実機を用いた主な体験型訓練メニュー

- ・ 2 回線受電方式による 本予備切替、停復電訓練
- ・ 火災警報から通報、避難誘導、消火訓練復旧

- ・ 排煙設備における機能検証訓練
- ・ 冷熱源・空調システムの水バランス調整訓練
- ・ 衛生機器の水漏れ、配水管詰まり対応訓練

②機能別に設備関連システムを理解することに重点を置いた研修

図面作成や施工段階では、設備関連のシステムは空調・電気・給排水衛生等それぞれが独立して扱われているため一連の機能として理解しにくいことがあります。例えば、ファンやダクトは空調、ON-OFFの制御は電気といった具合に分かれており、「排気システム」といった一連の機能としては捉えられていません。そこで、当社ではそれらを「排気システム」、「給水システム」といった一連の機能として捉え、その機能を正常に作動させるための訓練に重点を置いています。

【研修・建物概要】

研修内容と 教育方針	・基礎教育／基本操作・操作訓練 ・対応強化／事故・緊急措置対応訓練
実施計画	8月より若年層への基本研修、10月より管理者への所長研修(高度教育)を実施
利用見込	2009年度(8月末以降)／上記社内研修において25日・150人程度の利用を予定 2010年度以降／年間40～60日・300人程度の利用を見込。
建物概要	住所／兵庫県川西市柳谷隠場41-1 建築面積／308.98 m ² 延床面積／629.05 m ² 構造／2階建て・RC造